

さぬき市の大山茂樹市長と被爆アオギリの前で記念撮影

雨の中の行進 楽しみはやっぱり「食」！ ヒバクシャ国際署名 1筆

さぬき市役所前では早朝から、お年寄りがゲートボールを行っていました。そんな中、高松からも行進者が集まります。「おもしろマップ」に書いたアオギリには、原爆被爆樹と掛札がかかっています。

その前で出発式。大山茂樹市長は元号の平成と令和を合わせると「平和」となるとして、平和とは、暴力でもって勝ち取るものではない。意識を高めていくことが大切と強調。水前寺清子ではないが、平和は向こうから来るものではなく、こちらから歩いていくもので、三步進んで二歩さがっても一歩進んでいると強調しました。そしてさぬき市としても市民といっしょに考え、微力ながら平和に貢献していきたいと決意を述べて挨拶としました。大山市長は行進をじっと最後まで見送ってくれました。

三つの坂を踏破する行進

香川では峠といえば西の鳥坂・東の天野といわれますが、この日天野峠を越えて次の羽立（はりゅう）峠を登っていく頃から雨。天気予報より早く降りだし始めました。

ひたすら「歩く」だけの行進の楽しみは、何と言っても「食」です。今日は羽立峠で、協同病院の方が車で駆けつけ突然野菜ジュースを差し入れ、JR津田駅では、医療生協の岸本さんがジュースをご苦労様と元気付け。そして最後はJR丹生駅手前の休憩所で、恒例になった新婦人の田村妙子さんが自家製の「うめぼし」とそれぞれいただきました。ご馳走様でした。三つ目のさかを忘れていました。この「さか」の名は「まさか」です。朝出発すると何となく行進車が重いのです。みると「まさか」のパンク。早速JAFを呼んで何とかなりました。一番ひやひやした「さか」でした。



被爆アオギリの由来を説明する
大山市長と記念撮影



終結地点のJR丹生駅で